

これまでの「須田っ子の成長」から「今後の具体的な取組」へ

学校教育目標
 すすんで
 心やからだを
 やからかに
 する子

須田小学校の教育方針

- 「自分のよさを他の人のために生かす」（自利利他）体験を通して、子供が自分の成長を実感できる学校づくりを保護者や地域とともに進める
- 「あたりまえのこと」を「あたりまえにできる」ために、「あたりまえのこと」を見直し具体的な取組を設定し重点的・継続的に全校で取り組む

アンケート結果の数字を見ると、何れも指導途中のものばかりです。私たち須田小学校では、自分をより高めたいと感じている子供たちに寄り添うため、知恵を絞り指導してまいります。数字だけでは見えない子供たちの困り感に少しでも近付くことが、全ての子供たちのさらなる成長に繋がると確信しています。「あたりまえのこと」を「あたりまえにできる」ために、次の6つの窓口から小さな取組の積み重ねを続けてまいります。（校長 内山 晋）

自己肯定感

縦軸思考を育てる学習の創造

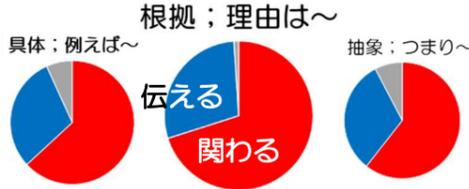
- ◆「須田に学び、須田に生かす」学習活動
- ・「地域を知り自分を知る」学習として、教育活動の中心に位置付ける。（本年度の取組を精査・整理する）

「ふるさと・須田」のひと・もの・ことよさを学び、「過去から学び・未来を見据え・今何をするべきか」考える(縦軸思考)学習経験を積むことは、地域、そして自らを見直す【自己肯定感】につながっています。さらに、相手のことを考えた言葉づかいにも影響しています。
 (H30.12 児童アンケート)



対話力

※下の円グラフは、授業中に、自分の考えを伝える際や、友だちの考えと関わらせる際に、対話スキルを使った子供の割合を示します。



- ◆日常的に「対話スキル」を指導
- ◆教師用の指導ツールの開発

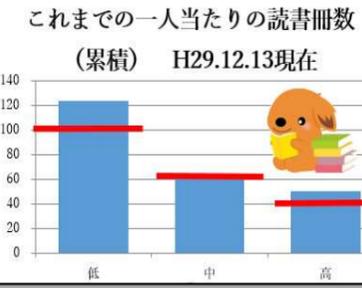
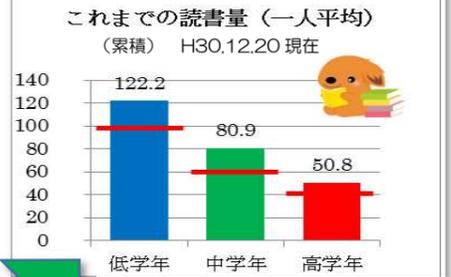
「伝える」から「伝わる」を意識した対話のある学びにするため、子供の多様な考えの「接点」を導き出すスキルの開発！

3つのキャラをゲットしてお話GO!

りんご、もも、みかん
 どうしてかという... どうしてですか?
 たまご、おたまご、たまご
 たまご...です。 たまご、どういふこと?
 たまご...です。 たまご、どういふこと?

読書力

約7割の子供が年間読書目標冊数を超えています
 (累計 7,400 冊 H30.12.20)。
 (前年 6,700 冊) 1.1 倍
 同時期昨年比



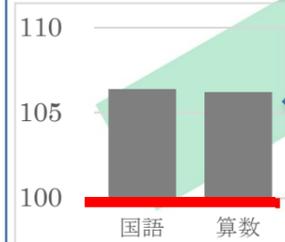
多読・再読で
 圧倒的な読書量を
 ◆読書への関心を高める取組
 (図書室の整備、図書委員会行事)

基礎→活用力



- ◆Web 問題から話す・聞くポイントの作成（教室に掲示し意識して活用する場を作る）
- ◆授業に「受け止め・置き換え」タイムの設定（他の考えも取り入れ振り返り作文を書く既習内容の活用・図表に整理して解く）

◆Web 配信問題正答率 (県平均 100)

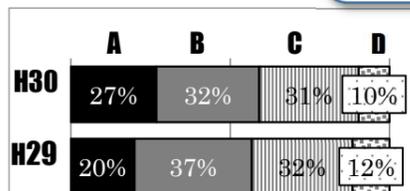


受け止める置き換える力の継続指導!

平均点レベルは県以上ですが、(国)相手の発言の良さを見付けること【受け止める力】や、(算)分数・小数の計算の組み合わせ問題、割合の問題など、既に学習したことを使い、図や表に整理して解き進めること【置き換える力】ができる指導を継続していきます。

体幹力

総合判定が向上している子供は握力を中心に50m走や立ち幅、ボール投げの成績も向上させています。



※98%の子供の体力得点も上昇!

※アルファベットは、新体力テストの総合判定の子供の割合(%)を示します。



にぎる・なげる・とぶ パワーアップ!

- ◆【運動の日常化】
- ・グーパー体操
- ・ボールの遠投の記録会(体育授業) ・ドッジボール大会(1～3月)
- ・縄跳び頑張りタイム(1～2月)
- ・けんけんぱコーナー(体育授業・隙間時間の活用)

4つの習慣と1つのスキル

※実線：高 点線：中 灰実線：低

- ◆4つの習慣は、スムーズな生活リズムを作る。ちょうどくるまのタイヤと同じ!



- ◆4つの習慣と1つのスキルの継続指導(全校約7割定着)。
- ・元気アップ週間の継続(学級での自学・家読の指導)(家庭での夜歯磨き・早寝の声掛け)

4つの習慣と1つのスキルの継続指導!

時間編集力

「早く寝なさい!」より「何読んでいるの?」で「家読」を広げましょう!
 さらに、午後9時になったら、「夜の歯磨き」の声がけも!

